

ともに生きる

共生

中学校 高校 教職員

道徳 学級活動

総合 教員研修

BS1スペシャル 50分 49分

マイケル・サンデルの白熱教室 15歳の君たちと学校のことを考える

(2013年放送)

この番組の良さ



いじめについての多角的議論

参加者は、35人の中学生、校長先生、いじめられた経験のある芸能人、子供がいじめられた母親（芸能人）などです。3つの短編アニメや海外のいじめへの対策を通して、いじめをさまざまな立場から考え、討論します。

理想の学校・理想の未来を目指して

学校のいじめだけでなく、一般社会においてもパワーハラスメントやセクシャルハラスメントなどのいやがらせが問題になっています。世界のいじめ対策を学ばせながら、日本で理想の学校、理想の未来を目指すためにはどうすればよいのかを中学生に考えさせ、意見を上手に出させるサンデル教授の手腕は、教師にとっても見ごたえがあります。

番組活用のポイント

ファシリテーターとしての技術を学ぶ

マイケル・サンデル氏はハーバード大学の政治哲学の教授。1980年から同大学で教鞭をとっています。ランダイス大学卒業後、ローズ奨学生としてイギリスのオックスフォード大学に学び、博士号取得。氏の授業「Justice(正義)」はハーバード大学の歴史上、履修学生の数が最高記録を更新しました。大教室は毎回1000人を超える学生でぎっしり埋まり、あまりの人気ぶりにハーバード大学では授業非公開という原則を覆し、この授業の公開に踏み切りました。

サンデル教授は、私たちが日々の生活の中で直面する難問について、「君ならどうするか?何が正しい行いなのか?その理由は?」と学生に投げかけ、活発な議論を引き出し、その判断の倫理的正当性を問うていきます。これからさらに充実していくであろう道徳やモラルの授業など、絶対的な答えがない問題を扱う授業を行うにあたり、サンデル教授の議論の展開方法・参加者からの意見の引き出し方・討論への誘導とコントロール・意見の整理などは、新しい授業の展開技術として多くのことを学べます。

学校での「討論のファシリテーター(促進者)」としての教師を育成するために、多くの先生方・教師希望の学生に研修などの機会に視聴してほしい番組です。

絶対的な答えがない問題にいかに対処するか

問題解決能力を育成するために、絶対的な答えがない問題について討論することはとても重要です。番組ではサンデル教授が中学生に向けて、簡単には答えの出ない難問を繰り返していきます。多様な意見を基に自分なりの考えをまとめていく中学生の様子に、視聴する生徒は多くの刺激を受けることと思います。番組を視聴した後に、各学校・地域における問題を議論すると、豊かな議論ができるようになると思います。

学習展開例

授業時間 50分



東北学院中学校・
高等学校
教諭 井口 巖

新着

正解のない課題を解決するために、 「あなたならどうする？」いっしょに考えてみよう！

時間配分	学習活動	教師の支援
事前	事前アンケートとして番組(DVD1)内の4つの質問を実施・回収・集計・チェックしておく。	
5分	① 事前アンケートについて、代表的な回答を書いた生徒に説明してもらう。または、集計結果の確認。	<ul style="list-style-type: none"> ○事前アンケートの集計結果を板書しておく。 ○事前アンケートの確認と番組の概要を説明。 ○あらかじめ3～6人のグループで着席させる。
35分	<p>② 気づいたことをメモしながら、番組を視聴する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>視聴 アニメーション1 あなたならどうする？ 「いじめに加わらなければ自分もいじめられるとしたら？」 (4分24秒～17分19秒)</p> </div> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ワークシートを配布し「気づいたこと・番組内の意見・自分の考え」をそこにメモしながら視聴することを指示する。(番組DVD1の2分54秒から見せる) ○アニメーション1とその後の議論を含めて視聴。 質問1：「いじめに加わらなければ自分もいじめられるとしたらどうする？」について、番組の中の気になる意見・自分の考えをメモするように声をかける。 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p>アニメーション2 あなたならどうする？ 「自分がいじめの被害者になったら親や学校に相談するか？」 (17分19秒～27分16秒)</p> </div> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ○アニメーション2とその後の議論を含めて視聴。 質問2：「自分がいじめの被害者になったら親や学校に相談するか？」について、いじめ体験者の意見を含めて、気になる意見・自分の考えをメモするように声をかける。 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p>どう思う？ 「自分に学校に通う子供がいたとして、もし自分の子供がいじめられたら恥ずかしいと思うか？」 (27分16秒～28分43秒)</p> </div> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ○アニメーション3を含めて議論を視聴。 質問3：「自分に学校に通う子供がいたとして、もし自分の子供がいじめられたら恥ずかしいと思うか？」 番組では「恥ずかしいと思わない」と全員答えているが、番組の中の意見と、自分の意見は同じか？ </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p>アニメーション3 もしあなたが校長ならどうする？ 「いじめの加害者生徒を出席停止にするか？」 (29分3秒～35分25秒)</p> </div> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ○アニメーション3を含めて議論を視聴。 質問4：「もしあなたが校長なら、いじめの加害者生徒を出席停止にするか？」について、番組の中の気になる意見・自分の考えをメモするように声をかける。 </div> </div>	

事前アンケートもワークシートも記名で実施すると、次の時間の導入に有効に活用できます。番組を止めずに視聴しながら、生徒にメモを促す声かけをして進める方法が時間的に有効です。最後の10分の意見交換と記録が鍵になります。短くても自分の言葉で考えを記入できるとよいです。教師は、次の時間までに生徒の意見から特徴的なものをピックアップするとよいでしょう。

さらに、この授業が終了した後に、DVD1の後半(35分27秒～)とDVD2を合わせた形で「世界のいじめ対策とその考え方」について学び、みんなの考える「よい学校」や「理想の学校」、「あなたの考える理想の社会」について、自分なりの考えをまとめる展開を準備すると、この番組をすべて利用できると考えます。

ともしんねん